



平成 23 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名 東 洋 刃 物 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 庄子公侑
(コード番号 5964 東証第二部)
問合せ先 取締役管理部長 清野芳彰
(T E L (022) 358 - 5782)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社は、平成23年6月における月末時価総額が6億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成23年6月の月末時価総額が6億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程では、事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を平成23年12月末までに東京証券取引所に提出する場合にあっては、平成24年6月末までに、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が6億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。なお、上場株式にかかる時価総額基準につきましては、平成21年1月末より平成23年12月末までの間、時価総額基準が10億円未満から6億円未満に変更となっております。

(ご参考)

- ①平成23年6月の月間平均時価総額 603,636,364 円
- ②平成23年6月の月末時価総額 580,000,000 円

(6月30日終値 58 円 × 6月末日上場株式数 10,000,000 株)

2. 今後の見通しについて

当社グループは、平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災により、本社、多賀城工場及び仙台営業所が被災し甚大な被害をこうむり、平成 23 年 3 月期決算において 9 億 20 百万円の損害額を特別損失として計上し、大幅な純損失を計上することとなりました。

こうした状況下で上場株式にかかる時価総額基準に抵触いたしました但、このような状況を解消すべく、今回の東日本大震災からの復興とあわせ、大幅な組織の再編や高付加価値製品への注力による採算性の向上等を含めた事業計画を策定し、財務体質の健全化を実現すべく全社一丸となって取組んでまいります。

本業の面においても、企業規模にあった収益力強化を図り、安定した黒字体質を実現することにより、今後も引き続き東京証券取引所における上場を維持するよう最大限努力してまいる所存であります。

なお、今後平成 23 年 12 月末までの間に、東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善、その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました但、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上